



2025年 7月11日
第5号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第15号

「横浜線ワンマン運転について」に関する解明申し入れ 【全27項目】団体交渉を行う！③



5. 安全面が低下しない根拠を明らかにすること。具体的には、後方防護のあり方、車内秩序維持および車内トラブル、パンタグラフの確認方法、踏切遮断棒確認方法などを明らかにすること。
【会社回答】横浜線におけるワンマン運転の実施にあたり、線区の特情等を踏まえて、安全について必要な対応は実施していく。

組 合

会 社

安全について必要な対応とはどういうことなのか。

ワンマン運転を実施するということで、お客さまの乗降を確認できる CCTV・カメラ、車内放送マイクの増備等の整備を行っている。

☆後方防護のあり方、踏切の安全確認方法について

後方防護の重要性、後方防護要員がいなくても安全性が保たれる根拠について示すこと。

列車防護・併発事故防止の観点で言えば、携帯用信号炎管や軌道短絡器を用いて列車防護を行ってきた。時代が進む中で防護無線・防護無線自動発報装置等、様々な技術が進化してきた。旅客転落等のリスクを減らすためにホームドアを整備している。**危険を感じたら列停を扱う等、まず列車を止めるという考えに変わりはない。** **ポイント！**

周囲の安全確認はどのように行うのか。運転士側だけの確認で大丈夫なのか。

ポイント！

設備社員にも教育を行っているし、これからも行っていく考えに変わりはない。**見える範囲で確認していただく。**車外スピーカーで周囲に列車が動くことを伝えるのも一つの例。気笛を鳴らしながらゆっくり起動するののも一つのやり方である。

☆車内秩序の維持、急病人対応等について

車内秩序の維持、急病人対応、車内トラブル等の対応について、どのような対応を考えているのか。

初動は運転士が対応する。そのあとは、指令から車内放送を実施するとか、運転再開に向けて駅と連携する等の考えに変わりはない。

駅で発生した事象については、駅社員から運転再開指示を受けるが、運転台にいと放送が聞こえにくい。対面で行うように統一する等の考えはあるのか。

駅社員含めてワンマン運転開始になることは周知している。ケースバイケースだが、**不安があれば指令を介して確認していただきたい。** **ポイント！**

☆踏切動作および遮断棒の確認方法について

踏切動作確認および遮断棒の上昇確認はどのように行うのか。踏切中間に停車した際に、終始点の関係で遮断棒が上昇するケースが考えられる。現状では、車掌が車内から顔を出して確認し対応できるが、今後は確認しづらい状況や分からないケースが出てくる。何か対策は検討しているのか。

そのような踏切があることは会社も認識している。繰り返しにはなるが、しっかり状況を確認していただくことと、車外スピーカーや気笛を鳴らす等、区所の手順に従って運転再開していただきたい。 **ポイント！**

☆乗務交代時におけるパンタグラフの確認方法について

交代時に目送を行わなくなり、車掌がパンタグラフの確認を行っているが、ワンマン運転開始後は運転士のみとなり、交代時は確認ができないケースもある。この点はどのような問題意識を持っているのか。

E233系はTIMS画面でパンタグラフの状況が確認できる。**乗り継ぐ際に、見える範囲で見てください。** **ポイント！**

☆列停警報機について

列停警報機について、多くが出発信号機や出発相当の閉そく信号機の柱に付いている。ワンマン運転になった場合、その警報機を過ぎると列停が扱われても気付くのが困難である。この点について、何か対策は検討しているのか。

現段階で移設や増設等の計画は無いが、光と音があるので気付いたら列車を止めていただくという考えに変わりはない。

☆運転士の負担が大きくなる認識について

運転士の負担が大きくなるという点についての認識はどうか。

大きな変化点であり、負担がかかることは認識している。区所を含めて検討していく考えに変わりはない。

☆淵野辺駅通過時に発生した人身事故について ※人身事故については17項でも議論しています。

今年初めに淵野辺駅通過時に発生した人身事故や、過去に南武支線で発生した旅客転落、ここに対する対策や問題意識はどのように持っているのか。

そういう事が無いようにしていく考えに変わりはない。横浜線と言えば、ホーム上の安全確保としてホームドア整備がある。

☆その他

退行運転時に踏切が遮断しない場合にサイリウムを取り付けるが、ワンマン運転開始後は運転士一人で行うのか。

対策本部で決める認識だが、やるのであれば運転士が対応することになる。

長時間停車における基本的な対応はどうか。

南武線で人身事故が続いてしまったが、運転再開時分はほぼ変わらなかった。指令も含めて総体で対応していく考えに変わりはない。

次号④へ続く